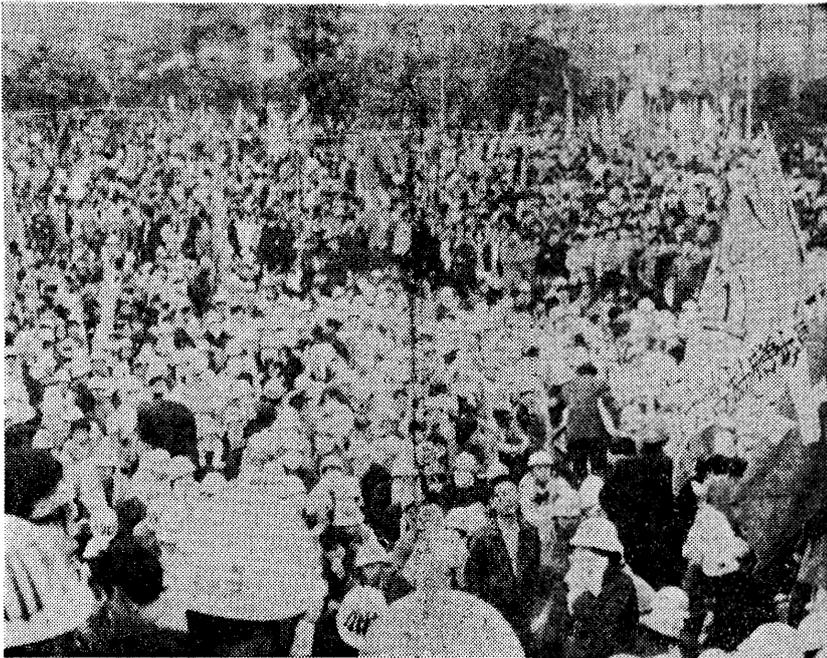


予想上回る五万人結集

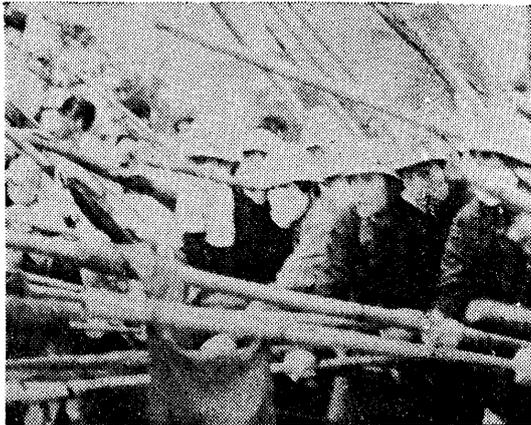
着実に“勢力”を伸張

4・28 散発的に機動隊と衝突

七二軍油繰復帰を決めた、昨年の日米共同声明後、初めての「四・二八油繰デモ」は、全国各地四五都府県四九ヶ所で、集会が開かれ、約二〇万人の参加者、市民、学生が参加した。「ゲバぬき、大衆動員」をうたげて、明治公園に結集した新左翼の参加者、学生は予定を上回る五万人（警視庁調べ）一



万五〇〇〇人を数えた。昨年の10・21以来、「冬の季節」といわれた学生運動にも、「春」が胎動し始めたことは事実である。集会后、学生たちはデモ行進で小せり合いを起したが、大規模な機動隊との衝突にはいたらなかった。（カット上は明治公園、下は革マル派に向けた竹サオの）



六日行政府員会へ平連 など新左翼陣の主催する「油繰闘争勝利」安原粉砕・28大統一集会は、神宮外苑の明治公園で開かれた。全国から上京した参加者、学生らは、屋敷から同公園に集結しはじめた。新入生も巻き込んだ全共闘、革マル勢力を伸張させた反映青年会など、公園を所せまじとデモ行進を行なった。午後三時半

五、〇〇〇人が参加。集会は日米共同政府に対する抗議文を採択、中央集会宣言を行ない午後七時すぎから新宿、恵比寿の二コースに分かれてデモ行進した

四大学を先制の捜索

「四・二八油繰デモ」を前にした二十七日早朝、早稲田大学、中

に移動した。アモ途中、赤坂見附付近で、反映青年会、反復闘争、ML派学生など約四〇〇人がジクザクデモ、首相官邸を目標し、機動隊のタテと激しく衝突し、投石もあったが十五分後にはまれ、規制を受けた。

同じころ、港区の地下鉄日比谷線広尾駅に、青ヘル学生約三千人が現われ、改札口からホームをぬけ、停車していた電車の運転席のガラスをたたき割った。

アモ終結の日比谷公園に到着したML派学生約二〇〇人は、国会に向おうとしたため、これを阻止する機動隊と同公園入口で小せり合いを起した。学生は近くにあってゴミ箱に火をつけたが、三人が公務執行妨害罪などで逮捕された。

一方、代々木公園では全国統一行動中央集会が午後六時から開かれた。共闘党を十二団体、主催者約九万人（警視庁調べ）四万

中央大学々々学生、法政大学、東洋大学は警視庁公安部の捜索を受けた。

捜索対象は、早大は革マルと社学同の内ゲバ、法政大は機動隊への投石、東洋大は全共闘系と民青系との衝突、中大代々木寮はML派とランドの内ゲバ事件一である。が、四・二八を前にした治安当局の先制攻撃である。